



自分らしく～6年生5人の成長～

6年担任 嶋田 若菜

6年生の学級目標は「花楽風流（カラフル）」です。「一人一人の個性を大切にして過ごしたい」という思いを込めて、4月に5人の子供たちが話し合って決めました。人前で大きな声を出して引っ張っていくことより、周囲の小さな変化に気付いて声をかけたり、みんなで相談して物事を進めていったりすることが得意な5人の子供たちです。運動会や学習発表会等の行事や、縦割り班活動や委員会活動等では、最高学年として自分にできることに5年生と一緒に精一杯取り組んでいます。

今年の学習発表会では、「誠実」をテーマにした劇づくりに挑戦しました。練習や準備の中で「自分にできることは何か」「どうしたらもっとよりよい発表になるか」を考え、それぞれの持ち味を生かして一生懸命取り組む姿が見られました。その姿こそが「誠実」であり、友達との関りの中で自然に育まれていくものだと感じました。また、自分のことだけではなく、発表全体の流れをみて、台詞の言い方や並び方を提案している姿に成長を感じました。

人数は少なくとも、互いに支え合いながら前に進もうとする姿がとても素敵な5人。この5人だからこそ生まれる一体感とあたたかさが、このクラスの何よりの魅力です。それが八幡小学校のあたたかさにつながっていると思います。

卒業を意識し始めた今、一人一人が自分らしく、そして誠実に周りと向き合いながら、成長していると感じています。自分の考えをもち、どんな場面でも前向きに挑戦し、自分を信じてやり抜く力をつけ、胸を張って卒業の日を迎えてほしいと思います。5人の“カラフルな挑戦”をこれからも、そっと後押ししていきたいです。



ふだんの くらしを しあわせに

5年担任 高野 昌幸

子供たちは、この先、年齢や性別、国籍等を越えて自分とは違う考え方や背景をもつ多様な人々と出会い、関わりながら生きていくことになります。時には、相手を理解し、受け入れていくことが難しいと感じる場面に直面することもあるかもしれません。それでも、私たちは、他者と向き合い、お互いにとって暮らしやすい世の中を築いていかなくてはなりません。

5年生の総合的な学習の時間では、「ふだんの くらしを しあわせに」というテーマで福祉について学習しています。1学期は、様々な障害を抱える人たちの話を伺いました。

「どのようなことに困難を感じておられるのか」「困難に直面した際に、どのように向き合っているのか」等の話を聞く中で、様々な立場にある人々と共に生きていくためには、どのように接していくべきよいのか、どのようなことをしていけばよいのか、子供たちは真剣に考えていました。これまでの自分と向き合い、今も考え続けています。2学期は、保育所交流の学習を進めています。幼児と触れ合う中で、「どうしたら喜んでくれるかな」と他者へと思いを馳せています。

これらの学習を通して、自ら課題を見付け、よりよく問題解決する力を身に付けるとともに、予測が困難な時代を他者と共に協力しながら生きていく人間になってほしいと願っています。

